

うるおい木曾

東海三県を水で結ぶ - 木曾川用水

Vol. 73
2018・10月
水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構
発行：木曾川用水総合管理所
〒495-0036
愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1
TEL. 0587-97-3710(代表)
FAX 0587-97-1482
ホームページアドレス
<http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

地域連携の合同防災訓練を実施

木曾川用水総合管理所では、緊急時における防災業務の遂行と並行して、可能な範囲内で事務所及び施設が所在する市町村等への地域支援ができるように体制作りに取り組んでおり、平常時から地域との連携を進めています。

その一環として、7月27日(金)に岐阜県美濃加茂市にある蜂屋調整池(森山揚水機場)において、関係利水者の方々とともに「可搬式ポンプ設備の設置・操作訓練、備蓄資機材の運用管理の説明」等の合同防災訓練を実施しました。



全体説明



設備操作訓練



ポンプ設置訓練

大規模地震の発生を想定した防災訓練を実施

「平成30年度防災週間(8月30日(木)～9月5日(水))」にあわせ、当管理所では9月3日(月)に中部管内一斉地震防災訓練及び個別地震防災訓練を実施しました。

今年の防災訓練は、大規模地震が発生したと想定し、初動態勢の確立、情報収集・伝達及び応急復旧対策等の訓練を行いました。当日は、中部管内一斉にシナリオに基づいた進捗で訓練を実施しました。実際に地震が発生した際に円滑かつ適切な業務の遂行と職員の防災意識・対応能力の向上を図るため、担当以外はシナリオを知らない状況で訓練を実施しました。

今後も、大規模地震が発生しても業務を遂行できるよう、定期的に防災訓練を実施し、地域への用水の安定供給に努めていきます。



防災本部



庁舎点検



シェイクアウト訓練

環境学習会を開催しました

8月28日(水)に「農業水域における生態系への考え方」と題して、木曾川用水総合管理所に岐阜大学応用生物科学部の平松教授を講師としてお迎えし、農業用排水路における生物調査を通じて、考えたことや感じたことをお話して頂く「環境学習会」を開催しました。

学習会では、愛知県犬山市にある「大江幹線排水路」を調査フィールドとして長期にわたり生物調査を行い、旧排水路からコンクリート排水路に改修された環境配慮工法後の生態系の変化について、分析結果や考察等を教えて頂きました。調査を進める中で、水路のコンクリート化が良いわけではないが、環境配慮工法である「魚溜工」や「魚巣ブロック」は有効であり、その工法を用いれば水路改修後も年月とともに、魚数・魚種が徐々に回復していくことが分かってきたとのことでした。

今回の環境学習会は、味噌川ダム、岩屋ダム、愛知用水、三重用水や木曾川右岸緊急改築事業施工業者からもWEBによる聴講参加がありました。この学習会を通じて、職員等の環境に対する意識と知識の向上が図られました。



岐阜大学 平松教授紹介



環境学習会: 講義

優良工事等の表彰を行いました

7月13日(金)に、当管理所において、平成29年度に完成した工事・業務の中で、特に優れた成績を収めた工事・業務の受注会社並びに技術者を表彰するため、「平成30年度優良工事等表彰式」を執り行いました。

はじめに木曾川用水総合管理所長から、工事では質の高い施工・安全な施工、業務では精度の高い業務成果に対し、お礼の言葉がありました。また表彰された受注会社から、今回の工事及び業務に携わった感想等が述べられました。

今回の表彰式における受賞者は以下のとおりです。

- ◆優良工事表彰 : 北川工務 (株)
- ◆優良業務表彰 : (株) テイコク
- ◆優秀技術者表彰 : 中西 元志 様 ((株) テイコク)
- ◆安全管理優良工事表彰 : 北川工務 (株)
TSUCHIYA (株)
あおみ建設 (株)
(株) 川瀬組
アイサワ工業 (株)



受賞者のみなさん

就業体験実習(インターンシップ)

木曾川用水総合管理所では、今夏も8月20日(月)～31日(金)の2週間、三重大学から2名の就業体験実習生を受け入れました。実習では、木曾川用水事業の概要説明後、操作室・施設巡視・開水路目地補修、灌漑諸元調査、大堰静水池の堆積土砂測量等の管理業務に係る実作業を体験してもらいました。



操作室:遠方操作



施設巡視:設備点検



開水路:目地補修



発電機:動作点検



灌漑諸元調査:機器撤去作業



大堰静水池:堆積土砂測量

また、施設見学を通じて、水を河川から取水した後、どのように導水・配水され利用されていくかの理解を深めていただきました。

2週間の締めくくりとして、実習生に成果の取りまとめや体験で得られたこと・感想などを発表してもらいました。



施設見学:木曾川水管橋



施設見学:白川取水口



実習成果発表会

期間終了後の実習生のアンケートからは、

- ・ 普段使っている水がどのように自分達のところに来るか、またこの過程でどれだけの多くの人が仕事に携わっているかが分かった。
- ・ 通水する施設の管理に関して仕事が尽きないことを知り、やりがいのある仕事と感じた。
- ・ 水資源機構の仕事を体験し、仕事を考えるうえで大変参考になった。
- ・ 自分の仕事が水を介して社会に貢献しているという話を聞き、仕事に対し誇りを持っていると感じた。

等々、受け入れた側としても、嬉しい感想をもらいました。

地域の産業について調査(祖父江中学校)

文部科学省の学習指導要領に定められた総合的な学習の時間として、「祖父江を見つめて」というテーマをもとに、10月4日(木)に稲沢市立祖父江中学校1年生10名が木曾川用水総合管理所に来訪されました。

当日は、木曾川用水事業概要及び操作室での水管理方法について説明し、その後生徒さん達からの質問を受けました。この学習の目的は、祖父江で働く人々の話を聞き、これからの祖父江の在り方やまちづくりの一員として自分達でもできることを考え、そこから見えてくる課題について調べ学習に取り組んでいくものです。

インタビューでは、この仕事が祖父江町の住民生活をどのように支え役立っているか、どうしてこの仕事を始めようと思ったのか、仕事の難しさ、川が氾濫したらどうするのかといったものがありました。これらの質問に対し、対応した職員それぞれの思いを、生徒さん達に回答させていただきました。この学習を通じて、仕事をする意義と限りある水資源の大切さについて、生徒さん達の理解が深まったかと思えます。



概要説明

学習の最後に、覚えてもらいたいこととして、木曾川から取水された水は、農業用水、工業用水及び水道用水へと多目的に使われていることや、木曾川用水の主な目的などを、再度説明し理解を深めてもらい終了しました。

生徒さん達からの質問を受け、改めて仕事の重要性を認識し、的確・迅速な用水供給及び施設管理を行っていかねばならないと感じました。



操作室の説明



機構職員へのインタビュー

お知らせ

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキや当管理所ホームページ「お問合せ・ご意見」からどしどしお寄せ下さい。また、施設見学をしてみませんか。事業の説明にも伺います。希望される方はお気軽に連絡して下さい。

編集部
・
発



うるおい木曾

木曾川用水総合管理所
〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1
TEL (0587) 97-3710 FAX (0587) 97-1482

最新情報はこちらへ

ホームページ <http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>
又は【うるおい木曾】で検索してください。

出先管理所

美濃加茂管理所 〒505-0021 岐阜県美濃加茂市森山町4-9-20
TEL (0574) 25-2121 FAX (0574) 28-3354

弥富管理所 〒498-0014 愛知県弥富市五明3-15
TEL (0567) 65-1650 FAX (0567) 65-0445

長良導水管理所 〒511-1143 三重県桑名市長島町西外面1026
TEL (0594) 42-5671 FAX (0594) 42-5674